令和 5 年度第 2 回(通算 122 回)歩こう会

全国都市緑化
仙台フェアウォーク開催記

記　歩こう会幹事　萩原鉄雄さん
開催日　2023 年 5 月 16 日（土）
場所　仙台市青葉区 青葉山・追廻地区
参加者　８名

5 月の歩こう会は国内最大級の花と緑の祭典「**未来の杜せんだい 2023**」が 6 月 18 日まで開催されるメーン会場青葉山公園追廻地区を中心に 16 日に歩きました。

八木山動物公園駅屋上展望台

平成元年開催以来 34 年ぶりとなります。
全国持ち回りなので宮城県の次回は 2070 年頃かも集合場所は、地下鉄の駅の中で 日本一標高(136.4m)が高い八木山動物公園駅展望台にしました。参加者 8 名は展望台より仙台市内を一望したのち会場を目指して歩きはじめました。
八木山動物園前交差点より八木山ベニーランドにわたり仙台城跡に下りの道をすすみました。

八木山から長い下り坂で青葉山に

八木山大橋の架かる竜の口渓谷は、昭和初期までは自殺の名所で投身するとしばらくは浮かんでこないほど水深があったと聞かされていました。現在は川底が見えるほど水の流れはありません。
昭和 50 年に仙台に転勤して竜の口渓谷を観たときは深緑色で川底などみえなかったのに、いつの時期より水量が少なくなったのでしょうか。
現在は自殺防止のため橋の両側に 10 数メートルのフェンスが設置されています。

仙台城址（青葉城）眼下に繰り広げる
メイン会場「たなばた飾り」

仙台城城址よりは眼下に仙台の街並みとメーン会場の大花壇「はなばた飾り」をはじめ広瀬川の菜の花ロードなどを一緒に見られるのは今だけです。
土日はシャトルバスも会場から 20 分間隔で運行されていますので、会場の全貌をみたあと入場すれば観たいところを重点的にまわれるのでお奨めです。
城跡には令和 4 年 3 月の地震で破損した伊達政宗公の騎馬像も修復されて元の場所に帰還していました。
像をバックに記念写真中の観光客も多数いました。

北の方角には
仙台大観音様が堂々と鎮座

仙台城見聞館の見学などで滞在予定 25 分が倍近い時間を費やしてしまいました。

城址より会場までは約 20 分ゆるやかな下り道です。地震での傷んだ歩道もフェア開催にあわせて整備され歩き易くなっていました。
会場前の仙台市博物館は修理工事の為 2 年間の休館ですがフェアに協賛して宮城県美術館において「伊達政宗と杜の都仙台展」が 6 月 18 日まで開催中です。

メーン会場では最初に大花壇「はなばた飾り」を観て回りました。
期間中は約 200 種 12 万株の花苗が帯状花壇として楽しませてくれるそうです。期間半ばで 2 -3 回花の植替と入替を行っていろいろの花を楽しめるそうです。
パンジー・金魚草・マリーゴールド・シルバーレースなど数十種の花が整然と咲くさまは見事なものです。造園企業提案の特徴ある庭園の提案や仙台に今も残る居久根に調和させた杜のリビングガーデンなど 7 つくらいのテーマによる花壇等を観て回りました。

会場には世界第二次大戦の金物供出により提供された政宗像の上半身が幸いにも残ったとのことで展示公開していました。目の前で見ると見事な作りが感じられました。
広瀬川河川敷の散策路には菜の花ロードが設けられ約 1 km の散歩道でしたが、時間の関係で歩くことはしませんでした。
13 時近くになりましたので会場をあとにして、会員おなじみの食堂に行き歓談しながら食事をしました。
解散後各自他の会場に足をのばしたりする自由行動といたしました。

おなじみ食堂“どん亭”

メーン会場のほかに まちなかエリア会場・東部エリア会場・連携会場など約 20 か所などでもいろいろなことが行われ街全体に花壇が登場しています。乗り放題の緑化フェア周遊パスで複数の会場を巡るのも楽しいかもしれません。
私も仙台駅ペデストリアンデッキで各種の花々の植栽された花壇を一周したのち帰宅いたしました。

おかえり正宗公

会場内で・・

会場にも正宗公がいました。